

「Bフレッツ」町内誘致要望 年度内の開始見通し

町では、光ファイバーでのインターネット接続サービス「Bフレッツ」の町内誘致運動を展開してきましたが、7月24日、NTT東日本・北海道室蘭支店(境出雅仁支店長)に、長崎町長が、誘致要望書と仮申込書535件分を手渡し、誘致を強く要望しました。

この要望書に対し同支店長は「年度内にはサービス開始ができるように努力したい」と前向きな発言を行いました。



要望書を境出支店長に手渡す。

洞爺湖音頭全国的民謡へ 日本フォークソング連盟が認定

地方に埋もれている芸能の掘り起こしを行っている日本フォークソング連盟から、この度洞爺湖音頭が、伝統的民謡として認定されました。

今年は10団体が認定され、いままでも、ソーラン節などが同連盟から認定を受けています。

洞爺湖温泉観光協会では、功績をたたえて、7月19日の「サマーフェスティバル洞爺湖」の会場で、洞爺湖音頭保存会の島本清志会長に感謝状を授与しました。



洞爺湖温泉観光協会から感謝状を受ける島本会長(右)

まじのわだい

虻田ジュニアオーシャン 少年野球の全道大会へ出場

7月29日、第37回全道少年野球大会に出場する、虻田ジュニアオーシャンが、役場を訪れ吉田副町長に全道大会出場を報告しました。

同オーシャンは、6月29日伊達で行われた「西胆振少年軟式野球連盟第28回高円宮賜杯学童西胆振大会」で準優勝となり、同少年野球大会の切符を手に入れました。

吉田副町長の激励に、部員らは、優勝を目標にがんばります」と大きな声で心えています。

8月1日から行われた全道大



全道への意気込みを述べる選手ら

会では、惜しくも2回戦で延長サヨナラで敗退しました。

三豊市の児童らと交流深める ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー

7月26日、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」で、友好都市の三豊市から小学生約30人が洞爺湖町を訪れました。

これは、旧洞爺村の時代から毎年続けられてきた小学生交流で、今年は29日までの3泊4日の日程で滞りました。

カヌー、じゃがいも堀などの体験学習やビクターセンター、洞爺湖芸術館の見学などを楽しみ、とつや小学校の児童らとも交流を深めました。



イモ堀を楽しむ三豊の小学生ら